

# 平成 29 年度「中学生ふるさと民泊学習推進事業」実施報告書

長門市立菱海中学校 第 1 学年 (18 名)

平成 29 年 5 月 14 日～5 月 16 日 実施

## 1 活動のねらい

- 民泊や農業体験等を通して、幅広い年齢層との多様な交流を行うことでコミュニケーション力を育て、積極性・協調性・自律性を高めるとともに、豊かな人間性と社会性を育む。
- 体験を通して、訪問地域の人々の生活の様子を知る中で、自己理解や自己肯定感の高揚、将来の目標設定等の良い機会とする。
- 自分の良さを発揮するとともに、友達の良さを見付け、望ましい人間関係をつくる。

## 2 全体の指導計画 【主な活動地域名：周南市鹿野地区】

	期 間	活動の内容	単位時間数
事前指導	4 月 25 日～ 5 月 12 日	○班づくり・係の決定	1
		○きまりづくり	1
		○しおりづくり	1
		○時程の確認	1
実施	5 月 14 日～ 5 月 16 日	○鹿野地区市街地散策 ○和紙漉き体験 ○家業体験&民泊 ○大豆畑での作業 ○鹿野産大豆を使って豆腐作り	18
事後指導	5 月 18 日～ 6 月 9 日	○新聞づくり	3
		○お礼の手紙	1
		○事後アンケート	1

## 3 活動の展開

5 月 14 日 (日)		5 月 15 日 (月)		5 月 16 日 (火)	
8:30	学校出発	9:00	民泊家庭から集合	8:30	各家庭で家業体験
10:30	オリエンテーション		「山間部の食を学ぶ」		
11:00	和紙漉き体験		農業体験		
12:40	昼食	12:00	昼食	12:00	昼食
14:00	漢陽寺	13:00	鹿野産大豆を使って豆腐づくり		各家庭よりコアプラザかの集合
	座禅・写経体験		キーホルダーづくり	13:30	離村式
15:30	入村式			14:00	コアプラザかの出発
	対面式	16:00	体験活動終了	16:00	学校到着
16:00	各家庭へ移動		各家庭へ移動	16:20	解散
	家業体験と民泊		家業体験と民泊		

#### 4 実施上の留意点

- できるだけ費用の低減を図るために、往復の交通手段として市所有のマイクロバスを利用した。
- 非常災害の場合を考えて、団体行動の訓練を行うとともに、受け入れ先家庭との連携を密にして、緊急時の対応を依頼した。
- お礼の文とともに、3日間の出来事を新聞にして民泊先の家庭に、送付するようにした。このことにより、礼状の書き方を学ぶとともに、自分たちの活動をその都度きちんと記録させることができた。
- 食物アレルギーに関しては、保護者から細かく指示をしていただき、事前に民泊先に伝えた。対面式のあとで引き受け家庭の方と打合せを行った。

#### 5 活動の成果と課題

##### (1) 成果と課題

周南市鹿野地域への体験型宿泊も3年目となり、体験実施前から、生徒達は兄弟や先輩から様子を聞いていたこともあり、比較的スムーズに全ての行事が進行できた。民泊家庭では、どの家庭でも生徒はすぐに打ち解けた様子で、話したり、夕食の準備をしたり、各家庭の手伝いをしたりと、有意義な時間を過ごすことができた。離村式のお別れでは、民泊先のご家庭の方が涙を流されるなどして、本当に心から温かく迎えていただいたことがわかり感激した。生徒達は「また行きたい」と口々に話をしているので、この行事の成功を物語っていると感じた。

一方で、金銭面での負担が大きいことが一番の課題である。今年度までは県からの補助金のおかげで各家庭の負担は少ないが、全額負担となった場合、家庭への負担増とその徴収方法等が今後の懸案事項となる。

##### (2) 今後の改善点

受け入れ家庭から、できれば一日以上各家庭で連続した体験等をさせたいという意見をいただいた。何をさせるにしても、「準備をしておいて途中からしか家業体験をさせられない」や、「最後までさせることができない」などという話を伺ったので、今後は体験プログラムのもち方や実施方法等を工夫する必要があると感じている。

